



博報堂DYホールディングス<2433>、ネット広告業のデジタルホールディングス<2389>をTOBで子会社化



博報堂DYホールディングスはインターネット広告事業のデジタルホールディングスをTOB（株式公開買い付け）などで完全子会社化する。デジタルマーケティング体制の強化や新規顧客開拓の強化、「テレビ×デジタル」の統合提案など顧客への提供価値の拡張といった相乗効果を見込む。

買付代金は約270億円。買付価格は1株につき1970円で、公表前営業日の終値2163円に対して8.92%のディスカウント。博報堂は「直近3カ月平均の1414円に対しては、39.32%のプレミアムになる」としている。

買付予定数は1375万4907株で、下限は所有割合40.55%にあたる757万2454株。買付期間は2025年9月12日～10月28日までの30営業日。決済の開始日は11月5日。公開買付代理人はSMBC日興証券。

デジタルホールディングスはTOBに賛同したが、TOBに応募するかどうかは株主の判断に委ねることを決めた。TOBが成立すれば、同社の東証プライム市場上場は廃止となる。

デジタルホールディングスの創業者と現会長（合計7.45%）はTOBに応募することで合意している。両氏の資産管理会社2社は同社株の26%超を保有するが、TOBには応募せず、TOB成立後に博報堂が2社の株式を取得する形でデジタルホールディングスを完全子会社化する。一連の買収総額は約340億円となる。

デジタルホールディングスは1994年にデカレックスとして設立。2004年にジャスダック市場に上場し、13年に東証1部に昇格（2022年4月に東証プライム市場に移行）。2020年に現社名となった。